

地盤工学会関西支部 第2回若手セミナー

～地盤工学の基礎講座～

主催：(公社) 地盤工学会関西支部

協賛：(公社) 土木学会関西支部

(一社) 建設コンサルタンツ協会近畿支部

(一社) 日本建築学会近畿支部, (公社) 大阪府建築士会

(一社) 関西地質調査業協会

※協賛団体は予定です。

地盤工学会関西支部では、学会次世代を担う若手会員の活性化、交流を目的とした「若手交流会」を、昨年度まで15回にわたって実施して参りました。今年度はこれを一新し、「若手セミナー ～地盤工学の基礎講座～」として、若手技術者・研究者が関心を持つテーマを題材に勉強会形式で継続的に学習できる内容とし、意見交換によって交流を図ることを目的として開催しております。

第2回は、第1回に引き続き「地震時の液状化」をテーマとして開催いたしますが、今回はセミナー参加者からの希望者による「①話題提供(業務・研究発表など)」と「②課題に対する解答発表」を主な内容として開催いたします。

本セミナーは、多くの人に関心を持つ地盤工学に関するテーマを毎回設定し、テーマに対する講義や話題提供を題材に若手技術者の継続的な交流を目指します。官公庁や自治体、企業に勤める若手技術者や研究者の方、学生の方、ふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

(1) 日 時：平成27年12月9日(水) 16:00～19:30

(2) 場 所：ドーンセンター 大会議室

大阪市中央区大手前1丁目3番49 5階 (TEL: 06-6910-8500)

京阪電車「天満橋」駅もしくは地下鉄谷町線「天満橋」駅より東へ徒歩5分

(3) 定 員：先着50名(20～30代の若手を主としますが、同伴者は年齢不問とします。)

(4) 参 加 料：会員2,000円、非会員3,000円、学生会員1,000円

※特別会員に入会企業の方は、非会員でも会員価格でご参加いただけます。

(会員価格での参加可能人数は、特別会員の級別に応じます。)

※話題提供、課題に対する解答発表者には景品(図書カード)を進呈いたします。

※参加料には懇親会費用も含まれますが、内訳が必要な方は事務局までお問合せ下さい。

(5) 内 容：15:30 会場受付開始

16:00 開会挨拶

16:05 話題提供

最大4名程度(発表10分、質疑応答5分・・・話題提供数で調整)

17:05 課題に対する解答発表

最大4名程度(発表5分、質疑応答5分・・・解答者数で調整)

17:45 懇親会準備

18:00 懇親会 ※楽しいイベントを企画しております。

19:25 閉会挨拶

(6) G-CPD ポイント：2.0

(7) 申込み期限：平成27年12月2日(水)

(8) 申込み方法：参加ご希望の方は、①氏名、②所属、③所属住所、④所属先電話番号・FAX-メールアドレス、⑤会員・非会員の別、⑥話題提供・課題解答の有無をご記入のうえ、申込期限までに FAX または E-mail でお送りください。申込受付後、参加証・請求書・案内図および郵便振替用紙をお送りいたします。なお、参加費の納入は郵便振替(銀行振込・現金書留可)でお願いいたします。

(9) 申込み先：(公社)地盤工学会関西支部

〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-5-7 ストックビル天満橋 801 号

TEL：06-6946-0393 FAX：06-6946-0383

E-mail：office@jgskb.jp URL：http://www.jgskb.jp

【話題提供の募集】

◎10～15分(質疑応答を含む)程度 of 話題提供(パワーポイント等によるプレゼンテーション)を募集いたします。

◎発表資料は、開催日の一週間前(12/2)までにご準備いただければ結構です。

- ・地震時の液状化やその他地震に係る研究や業務をテーマとした話題(研究成果や業務成果など)を募集いたします。
- ・テーマについて、日頃感じている疑問や意見などでも構いません。
- ・本発表のテキスト配布は予定しておりません。

【課題の解答募集】

◎第1回で募集した質問のうち下記2問を課題としまして、皆さまに考えて頂きます。

Q1. 上部と下部を透水性が低い土に挟まれた液状化層では、液状化したとしても過剰間隙水圧の消散に伴う沈下が起きないような気がするのですが、やはり普通の液状化層同様沈下や諸問題が起きるのでしょうか？

Q2. 地盤が一度液状化すると締め固まり、再び液状化し難くなるのではないかと過去言われていましたが、近年、「再液状化現象」が各地で報告されています。「再液状化現象」の発生メカニズムを簡単に教えて下さい。

◎上記課題につきまして、どちらかの問題を選んでセミナーでその解答を5～10分(質疑応答を含む)で発表していただきます。若手技術者が今後身につけるべき、問題認識や課題解決能力の向上、ならびにプレゼンテーション技術の向上を目的としています。

◎解答資料は、開催日の一週間前(12/2)までにご準備いただければ結構です。解答資料のテキスト配布は予定しておりません。

(注意)話題提供、課題の解答ともに先着4名さま(合計8名)までとなります。

奮ってご応募ください。